

平成 30 年 9 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F P G
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 谷 村 尚 永
(東証第一部・コード：7148)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 久 保 出 健 二
(TEL. 03-5288-5691)

コミットメントライン契約の締結に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 9 月 19 日、下記のとおり、コミットメントライン契約を締結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 契約締結の背景

当社は、タックス・リース・アレンジメント事業及び不動産関連事業における案件組成資金を機動的に調達するため、金融機関との間でコミットメントライン契約を更新することといたしました。なお、一部の契約においては、安定的な資金の確保を目指した短期のコミットメントラインによる調達から長期借入金への移行及び自己資金の増加に伴い、資金調達コストの削減を目的とした資金調達枠の見直しを行っております。

- ① 平成 29 年 9 月に締結した株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする資金調達枠 191 億円のコミットメントライン契約について、平成 30 年 9 月 25 日付で、資金調達枠 155 億円の新たなコミットメントライン契約を締結することといたしました。
- ② 平成 29 年 9 月に締結した株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする資金調達枠 130 億円のコミットメントライン契約について、平成 30 年 9 月 28 日付で、資金調達枠 100 億円の新たなコミットメントライン契約を締結することといたしました。
- ③ 平成 29 年 9 月に締結した株式会社千葉銀行をアレンジャーとする資金調達枠 28 億円のコミットメントライン契約について、平成 30 年 9 月 25 日付で、資金調達枠 28 億円の新たなコミットメントライン契約を締結することといたしました。
- ④ 平成 29 年 9 月に締結した株式会社横浜銀行をアレンジャーとする資金調達枠 40 億円のコミットメントライン契約について、平成 30 年 9 月 26 日付で、資金調達枠 40 億円の新たなコミットメントライン契約を締結することといたしました。

当社グループは、上記契約における資金調達枠を活用し、今後も、業績拡大を目指してまいります。(参考)

当社グループの資金調達枠の総額の推移

本件により、当社グループのコミットメントライン契約及び当座貸越契約等に基づく資金調達枠の総額は、平成 30 年 9 月 28 日時点で、1,056 億円となる予定です。

	資金調達枠の総額
平成 29 年 9 月期末 (平成 29 年 9 月 30 日)	1,062 億円
平成 28 年 9 月期末 (平成 28 年 9 月 30 日)	894 億円

※上記金額は、コミットメントライン契約及び当座貸越契約等に基づく資金調達枠の合計であります。なお、上記の他、各金融機関との間で個別に借入れも行いますので、上記資金調達枠の総額が、当社グループの資金調達限度額を示すものではありません。

2. コミットメントライン契約の概要

① 株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするコミットメントライン契約

資金の用途	タックス・リース・アレンジメント事業における当社が立替取得する匿名組合出資金の取得資金または旧契約に基づく借入金の借換資金
貸付人	株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社イオン銀行 株式会社きらぼし銀行 株式会社商工組合中央金庫 株式会社池田泉州銀行 株式会社筑波銀行 株式会社三重銀行
アレンジャー 及びエージェント	株式会社三井住友銀行
コ・アレンジャー	三井住友信託銀行株式会社
設定した資金調達枠	総額 155 億円
契約締結日	平成 30 年 9 月 25 日
コミットメント期間	平成 30 年 9 月 28 日～平成 31 年 9 月 27 日
財務制限条項	本契約には以下の財務制限条項が付されております。 (1) 平成 30 年 9 月期末日以降の各事業年度末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、平成 29 年 9 月期末日における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の 75%に相当する金額以上に維持すること。 (2) 平成 30 年 9 月期末日以降の各事業年度末日における連結の損益計算書に記載される経常損益を損失としないこと。

② 株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするコミットメントライン契約

資金の用途	タックス・リース・アレンジメント事業における当社が立替取得する匿名組合出資金の取得資金、案件組成用の航空機取得資金または旧契約に基づく借入金の借換資金
貸付人	株式会社みずほ銀行 株式会社北越銀行 株式会社静岡銀行 株式会社足利銀行 株式会社新生銀行 株式会社群馬銀行 株式会社京葉銀行 株式会社徳島銀行 株式会社広島銀行 株式会社福邦銀行
アレンジャー 及びエージェント	株式会社みずほ銀行
設定した資金調達枠	総額 100 億円 (70 億円は US ドル建または円建、30 億円は円建)
契約締結日	平成 30 年 9 月 28 日
コミットメント期間	平成 30 年 9 月 28 日～平成 31 年 9 月 30 日
財務制限条項	本契約には以下の財務制限条項が付されております。 (1) 平成 30 年 9 月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を平成 29 年 9 月決算期末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額の 75%以上に維持すること。 (2) 平成 30 年 9 月期決算以降、各年度の決算期における連結の損益計算書に示される経常損益が損失とならないようにすること。

③ 株式会社千葉銀行をアレンジャーとするコミットメントライン契約

資金の用途	タックス・リース・アレンジメント事業における当社が立替取得する匿名組合出資金の取得資金、案件組成用の航空機取得資金または旧契約に基づく借入金の借換資金
貸付人	株式会社千葉銀行 株式会社青森銀行 株式会社七十七銀行 株式会社中国銀行 株式会社東邦銀行
アレンジャー 及びエージェント	株式会社千葉銀行
設定した資金調達枠	総額 28 億円
契約締結日	平成 30 年 9 月 25 日
コミットメント期間	平成 30 年 9 月 28 日～平成 31 年 9 月 27 日
財務制限条項	本契約には以下の財務制限条項が付されております。 (1) 平成 30 年 9 月決算期以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表の純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日または平成 29 年 9 月決算期の末日における連結の貸借対照表の純資産の部の金額のいずれか大きい方の 75%以上に維持すること。 (2) 平成 30 年 9 月決算期以降、各年度の決算期の末日における連結の損益計算書に示される経常損益を損失としないこと。

④ 株式会社横浜銀行をアレンジャーとするコミットメントライン契約

資金の用途	タックス・リース・アレンジメント事業における当社が立替取得する匿名組合出資金の取得資金、案件組成用の航空機取得資金（子会社宛転貸資金を含む。）または不動産関連事業における不動産取得資金
貸付人	株式会社横浜銀行 株式会社山口銀行 株式会社東日本銀行 株式会社佐賀銀行 株式会社北陸銀行
アレンジャー 及びエージェント	株式会社横浜銀行
設定した資金調達枠	総額 40 億円
契約締結日	平成 30 年 9 月 26 日
コミットメント期間	平成 30 年 9 月 28 日～平成 31 年 9 月 30 日
財務制限条項	本契約には以下の財務制限条項が付されております。 (1) 各決算期末日において、連結貸借対照表における純資産の部の金額を、平成 29 年 9 月期末の金額の 75%以上に維持すること。 (2) 各決算期末日において、連結損益計算書上の経常損益につき損失を計上しないこと。

3. 今後の見通し

本件による平成 30 年 9 月期の業績予想の変更はありません。

以 上